読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-53

筆者の 主張と 事例

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 主張を 述べて いる　(2) ㋑ 事例を 挙げて いる　(3) ㋑ 事例を 挙げて いる　(4) ㋐ 主張を 述べて いる
- 2　(5) 自転車に乗る練習
- 3　(6) ㋒ 失敗を おそれずに 挑戦（ちょうせん）する ことが 成長に つながる

みてあげる ところ

- 「たとえば」「また」で 始まる だん落が 事例、「しかし」「このように」の 後に 主張が 書かれて います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-54

文章の 構成

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ ①と⑤　(2) ㋐ 初めと 終わりに 考えが ある
- 2　(3) 緑のダム　(4) 二酸化炭素　(5) 大雨のときに山の土がくずれる

みてあげる ところ

- 初めと 終わりの 両方に 考えを 書く 組み立て（双括型）です。②〜④は その 理由を 一つずつ 説明して います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-55

文章の 中心を まとめる

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 聞く力　(2) それは、～ということですか。
- 2　(3) ㋒ ④

  (4) ㋑ 相手の 考えを 正しく 受け止めた うえで、自分の 考えを 伝える ことが 大切だ

みてあげる ところ

- 要旨は 筆者が いちばん 伝えたい 考えで、まとめの だん落（④）に よく 書かれて います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-56

グラフと 文章

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- (1) 6　(2) 2
- (3) イ 五月は 四月より 少ない　(4) ウ 新しい 本が 入った 七月に 数が ふえた こと
- (5) 運動会

みてあげる ところ

- グラフの 数は 四月 4・五月 3・六月 2・七月 6 さつです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-57

場面の 移り変わり

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

時と 場所に
しるしを



こたえ

- 1　(1) 駅のホーム　(2) その日の夜　(3) いなかのおじいちゃんの家
- 2　(4) ㋐ 別れるのが さびしい　(5) ㋐ いなかで 過ごした 夏の 思い出

みてあげる ところ

- 場面は「朝・駅のホーム」→「電車の 中」→「夜・自分の 部屋」と 移って います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読 どっかい

心情と 情景

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 冷たい雨がしとしとと降り始めていた　(2) 少しだけ顔を上げた
- 2　(3) ㋑ 悲しく 重い 気持ち　(4) ㋐ 少し 前を 向き 始めた 気持ち

みてあげる ところ

- 雨は 負けた 悲しさ、雨が やんで さしこむ 夕日は 気持ちが 少し 明るく なった ことを 表して います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-59

物語の 主題

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

題名や 最後の
言葉に 注目



こたえ

- 1　(1) 新しいのを買ったほうが安いよ。　(2) 持ち主の思い出
- 2　(3) ㋒ 直った 時計を 大切に 思う 気持ち
  (4) ㋐ 物に こめられた 思いを 大切に する ことの 尊さ

みてあげる ところ

- 主題は、おじいさんの 最後の 言葉と、父親の 時計を 直して もらった 少年の 様子から 読み取ります。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-60

表現の 工夫と 効果

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 銀世界　(2) ギュッ、ギュッ
- 2　(3) ㋒ 雪と 遊ぶ 楽しさが 伝わる　(4) ㋑ その ときの 感じが そのまま 伝わる

みてあげる ところ

- 「雪が 返事を する」は 人で ない ものを 人のように 表す 表現（擬人法）です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-61

ずい筆

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 体験　(2) ㋐ 体験　(3) ㋑ 考え
- 2　(4) 雨の日にしか見られないものも、たくさんあるんだよ。
- 3　(5) ㋑ 祖母の 家で 雨の 庭を ながめた こと

みてあげる ところ

- 「～と思う」で 終わる 最後の 文に、筆者の 考えが 書かれて います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-62

意見文（反論と 主張）

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 自分の考えを文章に書く習慣をつけるべきだ
  (2) 書くのは時間がかかるから、話すほうがよい。
- 2　(3) ㋑ 書けば 考えを 深めたり 見直したり できる
  (4) ㋒ 反対の 意見も 認めて、自分の 考えを 強める

みてあげる ところ

- 「たしかに」で 反論を 一度 認め、「しかし」で 自分の 考えに もどす 書き方です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-63

詩

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) つながっている　(2) 一歩
- 2　(3) ㋑ これからの 自分の 未来　(4) ㋑ 遠回りや 苦労にも よさが ある
  (5) ㋑ 道を 人生に たとえて いる

みてあげる ところ

- この 詩の「道」は、作者が 歩んで きた これまでと、これからの 人生を 表して います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく6ねんせい ・ こくご ・ k6-64

二つの 文章を 読み比べる

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ A　(2) ㋑ B　(3) ㋒ 両方　(4) ㋑ B
- 2　(5) 仲がよくなる
- 3　(6) ㋐ Aは 過ごし方を 一つに 決め、Bは 人に よって ちがって よいと 考える

みてあげる ところ

- Aは「次の 授業にも 集中できる」、Bは「次の 授業に 気持ちよく 向かえる こと」と、どちらも 次の 授業の ことを 考えて います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）